

CAGLIERO¹¹

カリエロ 11



第9号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2009年9月11日

本号の内容

- ・ 宣教顧問より
- ・ 宣教師派遣 1875 - 2009
- ・ ベトナム管区の宣教活性化
- ・ 2009年9月サレジオ会宣教祈りの意向

管区宣教担当者、宣教師、サレジオ・ミッションの友人の皆さん、9月のごあいさつを申し上げます！

新しい学期、あるいは新しい学年の始まる9月には、諸管区で宣教のために働いている会員に目を向けたいと思います。

管区宣教担当者の皆さん！ 皆さん75人と交流できることを喜んでいます。中にはじかに面識のある方もあり、連絡を取り合いながら励まされます。

まず、多忙な中、熱意をもって献身してくださることに感謝します。実際、専属の担当者はいません。皆、養成支部の院長／養成担当、青少年司牧担当、サレジオ・ボランティア運動担当、召命司牧担当、宣教・開発事務局担当、要理教育・小教区担当、管区財務などを兼務しています。

第二に、宣教活性化の資料を提供して頂き感謝しています。これらの資料はSDL(サレジオ・デジタル・ライブラリー：<http://sdl.sdb.org>)を通して誰でも利用できます。

第三に、宣教促進活動のために、会員、信徒協働者、若者を熱心に活気づけてくれていることを感謝します。実際、皆さんの取り組みによってたくさんの実りがあります。特に自分の管区外に宣教師を送り出したことのない管区における宣教師の召命の発見や、カリエロ11の頒布・翻訳・寄稿、また宣教活性化の資料の分かち合いなどです。

今年、多くの皆さんと会うことができました。特に南アジア(4月、デリー)、イタリア(6月、ローマ)における地域ごとの会合でお会いしています。今後の予定としてはインターアメリカ・サウスコーン(9月、キート)、東アジア・オセアニア(11月、マニラ)での会合を控えています。計画の実現に向けて宣教の炎を燃やし続けながら、忍耐強くたゆみなく働く情熱の人なくして、私たちはドン・ボスコに忠実でいられません。宣教促進担当者がまだいない20の管区で、担当者が見つかるように祈っています！

宣教顧問 ヴァツラフ・クレメンテ神父

ドン・ボスコからドン・チャーベスまでの宣教派遣、宣教師の数

総長	期間	派遣回数	宣教師数	備考
ドン・ボスコ	1875-1888	11	158	ドン・ルアのもとで宣教師派遣の回数は31と最も多く、4回派遣する年もあった(1891)! 宣教師数はドン・リカルドーネのもとでの2665人が最多。任期の長さと比較した場合、ドン・リナルディが10年で1984人とトップ。1回の派遣として最も人数が多いのは、ドン・リナルディのもとでの1929年の374人。
ドン・ルア	1888-1910	31	1465	
ドン・アルベラ	1910-1920	10	604	
ドン・リナルディ	1920-1931	10	1984	
ドン・リカルドーネ	1931-1952	18	2665	
ドン・ジジョッティ	1952-1965	13	1455	
ドン・リッチェリ	1965-1977	13	778	
ドン・ヴィガノ	1978-1995	17	870	
ドン・ベッキ	1996-2002	7	222	
ドン・チャーベス	2002-現在	9	200	
	合計	139	10,401	

ベトナム管区の宣教活性化

管区の歴史 — 宣教のルーツ

ベトナム管区は、創立以来、最初の 20 年間（1952 - 1975）に約 50 人の宣教師を与えられました。1976 年以降、すべての宣教師は国外へ追放されました。困難な時期を乗り越えた後、90 年代から初期養成が立ち上げられ、1999 年からは少しずつ、実地課程や勉学のために会員が管区外に送られるようになりました。また総長の要望に応じて宣教師として海外に派遣される会員も出てきました。

ヴァルドッコの宣教のダイナミズム

宣教への惜しめない献身は、若い会員の増加という実りを得ています。ベトナム管区は、ドン・ボスコの時代と同じ「ヴァルドッコの宣教のダイナミズム」を体験しているのです。ラテン・アメリカに宣教師が派遣されればされるほど、サレジオ会員になりたいとドン・ボスコに申し出るヴァルドッコの若者が増えたのです。初期養成全体が宣教への養成の基本的なモデルとなり、若い会員の心を宣教へと燃え立たせています。今年だけでも、7 か所のセンターで毎週養成を受けている大学レベルの志願生が 450 名、約 40 名の修練準備期生、36 名の修練生、修練期後の会員が 56 名います。

今年もまた、修練を終えた 7 名が総長にあてて宣教師志願を表明しました。かつてこの 7 人のアシステンテだった何人もの会員が、アフリカ、アジア、オセアニア、ヨーロッパで宣教師として働いています。管区宣教担当者は修練期後の養成支部の院長です。この養成支部では、宣教のための情報と養成が提供されています。修練期後の養成の 3 年目には、宣教召命の識別の機会が与えられます。（この体験から生まれた識別の過程が、現在、会の中で用いられているマニュアルの中核になっています。）

管区ニュースレターは、2 か月に一度、世界各地から届く宣教師の手紙やニュースを掲載します。それは 1923 年にフィリッポ・リナルディ神父が創刊した雑誌「Gioventù Missionaria」の場合と同じように、管区レベルで新たな宣教召命を触発しています。

サレジオ家族の宣教の日

サレジオ宣教の日も重要な役割を果たしています。年に一度のこの行事は、管区にあるサレジオ家族の六つのグループから 500 人ほどが集い、養成中の会員が進行役を務めます。養成 — 講話、芝居・ダンス・歌を通しての宣教体験の紹介 — のほか、最後のミサでは、宣教師に志願する会員が総長にあてて志願を表明します。サレジオ会に続き、サレジアン・シスターズ、信徒宣教師も宣教へと歩み出しています。宣教師たちの両親も祝いに参加し、遠い地で働く子どもたちの喜びや悲しみを共にします。

管区内の宣教 — 少数民族、モンゴル

管区の中にも第一次宣教を行う地域があります（ベトナム中部、北部の少数民族の人々の中で）。毎年、ベトナム中部の少数民族の人々のもとに何人かの会員が送られます。この会員たちは、管区長にあてて宣教師に志願することを表明した後、選ばれます。2000 年から、モンゴルの宣教がベトナム管区にゆだねられ、現在 3 つの共同体があります。モンゴルの共同体は、より効果的な福音宣教を継続していくため、管区の方針として国際共同体を作っています。

5 大陸で活躍する宣教師たち

最初の 10 年間に、健康上の理由から二人の会員が帰国していますが、総長が派遣した宣教師たちは、オセアニアのパプア・ニューギニア、ソロモン諸島、アジアの台湾、韓国、中国 - 香港、カンボジア、アフリカのアンゴラ、チャド、スーダン、南アフリカ、ザンビア、アメリカのペルー、ヨーロッパのハンガリー、リトアニア、アルバニア、イタリア、フランス、中東と、世界各地で働いています。

2009 年 9 月 サレジオ会の宣教の意向

「ミャンマー、タイ（タイ、カンボジア、ラオス）の両管区が神のみことばによって新たにされ、それぞれの国における使徒的召命を増やすことができますように。」

東南アジアの国々では、教会は仏教徒の中で少数派であり、外国の宗教と見なされることもあります。キリスト者共同体は互いに遠く隔たり、異邦人の中で生きています。サレジオ会は小さなカトリック共同体に仕え、若い仏教徒にも開かれた教育・社会事業に取り組んでいます。この国々において若者への宣教師として生きるために、日々の仕事の中でしっかりとみことばに根ざすことが求められます。